

港区立芝小学校
令和5年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し、使う力 ・言葉による見方・考え方を働かせるための基礎的な知識及び技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ・学年が上がるにつれ、自分の考えを人に伝えようという意識が低下傾向にある。 ・相手の話を最後まで聞くこと、自分の考えを分かりやすく伝えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内やモジュールの時間を活用し、漢字や語句の基礎的な力を養う。 ・図書館司書と連携し、関連図書の準備と並行読書の推進、読み聞かせや読書の充実を図る。 ・授業の中で、ペア学習やグループ学習をしたり、自分の考えや相手の考えを共有する時間を意図的に設けたりする。 ・図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章の提示や書き方、話型の提示をする。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活について総合的な理解を図るための基礎的な知識及び技能 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を「自分事」として捉え、これからの自分の生活に生かそうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得。(都道府県名、主な大陸名、海洋名及び位置等) ・社会科の学習を自分事として捉え、自らの生活に生かしたりこれからの社会の発展に貢献しようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室掲示等の学習環境を工夫し、地図や年表などに日常的に親しませる。 ・教科書や副読本、地図帳、図書資料等を活用して主体的に課題解決する場面を計画的に位置付ける。 ・社会的事象について学んだ上で、自分たちはどうすればよいのか、これから何が大切なのか、など、児童が「自分事」として考えるきっかけとなる問いを教師が意図的に発する。

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象を数理的に捉え、正しく処理する力 ・数学的な見方・考え方を働かせ、事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の中から、問題を解くために必要な情報を自ら選び出すこと。 ・解答の根拠となる条件を抜け落とすことなく正確に記述すること。 ・計算の過程で用いた考えを正しく説明すること。(以上は、令和5年度全国学力・学習状況調査参照) ・変化と関係領域(測定)やデータの活用領域に関わること。(東京ベーシックドリル参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の問題をアレンジし、不必要な情報も含めた問題を提示し、必要な情報を選択する学習活動を行う。 ・問題の解決後に、その解決方法の妥当性を議論する時間を設定し、解決に必要な条件を整理する学習活動を行う。 ・思考の過程や結果を表現できるよう、途中式を書かせることを徹底して指導し、図やグラフなども含めるなどして自分の考えを適切に表現する学習活動を行う。 ・抽象的な内容を具体的な内容として捉えられるようにするため、低学年から系統的に図や表、グラフに表現する学習活動を行う。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能 ・観察、実験などを行い、見方・考え方を働かせた問題解決の力 ・自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題に対する予想を立てることはできるがその予想をもった理由や根拠を説明すること。 ・結果をもとに、考察を書くこと。 ・自然の事物・現象についての理解や観察、実験などに関する基本的な技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についてのイメージと、既習の内容や生活経験、実験、観察、映像資料などで調べた結果から導き出した結論とを意味付けたり関連付けたりする活動を意図的・計画的に行っていく。 ・観察記録や実験データを表に整理したり、グラフに処理したりして考察を充実させる。さらに、これらの表やグラフを活用しつつ科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする学習活動を行い、考察を深めていく。

生活	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な活動や体験、他学年や地域の人との交流を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにする資質・能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然との関わりや生活体験が少ない。 ・自分と地域との関わりに気付いている児童は少ない。 ・よりよく工夫したり、友達のアイデアを自分のものに生かそうとしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭や公園等の自然に親しんだり、季節ごとの変化を感じたりできるような指導計画を立て、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わり等に見童自ら気付けるようにする。 ・試行錯誤して活動の楽しさや満足感、成就感などの手応えを感じられるような学習環境を整え、自らの学びを次の活動やこれからの生活に生かしたり、新たなことに挑戦したりできるようにする。 ・教師が「聞いて・助けて・任せて・見守る」授業づくりを行っていき、児童の思いや願いを基にした授業づくりを行っていく。

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽的な見方・考え方を働かせながら、思いや意図をもった表現を追求したり、音楽のよさを味わったりする資質・能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の好き嫌いに個人差がある。 ・思いや意図をもった表現を追求していく態度。 ・器楽の技能の習得などに粘り強く取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程に見通しをもつ場面、他者の表現や考えのよさに気付く場面、振り返る場面、生活の中の音楽とのつながりに気付く場面を設定する。 ・歌唱や器楽の技能、読譜の知識等を確実に身に付けられるようにスモールステップで継続的に取り組んだり、友達と交流しながら知識や技能を習得する常時活動を工夫したりする。

図工	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよきや表し方などについて考え、共感的に作品などに向き合い、自分の見方や感じ方を広げる力。 (思考力、判断力、表現力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図工が好きという児童 95%、図工は分かる(できる)という児童 95%であるが、学習評価と比べると、実感と能力の差がある。 ・個人差が大きい。 ・思考したことを表現に結び付けて深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学習課題を理解し、主体的に取り組むために、一単位時間の導入を工夫する。 ・題材と指導計画を工夫することで、習得・活用・探究を繰り返すことができるようにする。 ・自他の作品のよさに気付くことができるようにするために、制作した作品や、身近な美術作品、美術館への校外学習など、鑑賞の時間を工夫する。

--	--	--	--

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	実践的・体験的な活動を重視した学習を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能の習得に、個人差がある。 ・身に付けた知識や技能を、日常生活と結びつけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を生活体験等と関連付けてより深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見出して様々な解決方法を考え、また新たな課題を見出す過程を重視した学習の充実を図る。 ・衣食住など生活の中の様々な言葉に実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動の充実を図る。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、児童一人一人が生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な体力が低下していること。 ・運動に進んで取り組む児童とそうでない児童の差が大きく、二極化がみられること。 ・「3 間」(時間・空間・仲間)及び日常の遊びを通した運動に取り組む機会のどちらも減少していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が運動や遊びにおける楽しさや喜びを味わうことができるような場の工夫や学習過程の設定をする。 ・自己の適性等に応じた「する・みる・知る・支える」の多様な関わり方を身に付けさせるためにただ運動をするだけでなく、運動をしていく中で他者との関わりを充実させた体育授業の展開をする。 ・課題の発見とその解決に向けた学習過程を通して、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を高めていく。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	外国語の音声や表現に慣れ親しみ、身近で簡単な事柄について目的や状況に応じて外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力の差が、学年が上がるにつれて顕著になってくること。 ・高学年ぐらいから、外国語活動への意欲が下がってくること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄に関わる単語や表現を、多く取り入れたチャンツを使って、楽しみながら外国語学習をすすめていけるように、NTとも連携しながら授業内容の充実を図る。 ・4技能のコミュニケーションスキルを高めるために、場面設定を多様化し、会話をしたり、発表したりとバランスよく学習を進めていく。また、パフォーマンステストを取り入れるなどし、自分の考えや理由を相手に話して伝えられる能力の育成を図れるような工夫をしていく。

道	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	-------------	----------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的判断力(それぞれの場面において善悪を判断する能力) ・道徳的実践意欲と態度(道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き、道徳的態度は、それらに裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考え方や議論から、多面的・多角的な見方へと発展させること。 ・資料から考えた道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習を取り入れ、一斉による学習だけでなく、ペアや少人数グループなど、学習形態を工夫する。 ・より自分たちの生活に即した題材の工夫をしたり、登場人物になりきった役割演技などの体験的な学習を取り入れたりする。 ・道徳の授業だけではなく、ほかの場面でも、実生活で道徳的な実践ができた場合に引き上げて褒めるなど、日常的に道徳的実践力を高めていけるようにする。
--	--	--

特別活動	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団や自己の生活・人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成、意思決定する力 ・様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、生活および人間関係をよりよく形成する力 	<p>学級活動、学校行事等の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会等の話し合いの中で、個々の考えを深めたり広めたりすること。 ・主体的な取組や、自己実現するために行動すること。 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会等の話し合いの場を、計画的に設け、適切なタイミングで指導助言を行う。話し合いの流れの可視化、思考ツールの活用で話し合いをスムーズに行える指導をする。 ・係や委員会活動、行事の取組において、教員側が見通しをもって指導に当たり、児童の自主性を尊重しつつ、活動意欲が高まる環境を整えたり、発表の時間を設けるなどして児童の活動の様子が周りに伝わる工夫を支援したりする。
------	--	---	---

総合的な学習の時間	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習の過程における、課題の解決に必要な知識・技能 ・実社会や実生活の中自ら問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力 ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする態度 	<p>学習評価等に基づく課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情も考慮した上で、教師側からの「押し付け」にならないよう、児童が心から追究したいと思えるようなテーマを設定すること。 ・自分の考えを深めたり広げたりすること。 ・情報の収集手段が単一的であること。 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が「心から追究したい。」と思える課題を見いだすことができるよう、学習の手引きや資料等を活用し、単元の導入や学習過程を工夫する。 ・情報収集の手段として、区役所等の施設や経験者に問い合わせをする、現場に行く、インタビューやアンケートを実施する、他校と比較するなど、「人」と関わる時間を授業に意図的に取り入れるようにし、「出会わせ方」を工夫する。 ・児童がすすんで社会にかかわり、参画しようとする意志をもてるよう身近な地域の人材や施設、題材を積極的に活用する。
-----------	---	--	---